

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団体名	ハピサン Books
まちづくり活動名	本と一緒にコミュニティスペース作り
活動地域	名古屋市南区呼続界限
活動の背景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）</p> <p>活字離れと言われ久しい昨今。しかし、親が読み聞かせをする子どもの眼差しはとても輝いています。その輝きをいつまでも大切にしていきたいと思った時、本に出会える場所が少ないことに気がつきました。出会った本によって人生が大きく変わることもある。そして本は様々な知識や感情が蓄えられ、それはやがてコミュニケーションの力となると思います。本に出会える場をできるだけ多く、そして本を介してコミュニティが作られる場があると、その街はとてもいい雰囲気になるのでは？と思ったのが活動のきっかけです。その思いを胸に声かけをしたら賛同してくれる方が多々おり団体の立ち上げのきっかけとなりました。</p>
目的・目標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>■目的 本を介して幅広い年代が集えるコミュニティの場を作る。</p> <p>■目標 活動地域に3つ以上の本を介したコミュニティ拠点を作る。</p> <p>■成果 子どもから大人まで、様々な年代の方が利用し、交わされる言葉で色々な方が自然と交流できるようにする。</p>
活動内容	<p>（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>ハピサンハウスと呼んでいる古民家を改装したコミュニティスペースで定期的に図書館を開催する。それにより、近所の子どもたちや大人たちが来場し本と人とのふれあいを育くむ。定期的に開催する事により返却日の約束もでき、持続しやすくなる。</p> <p>本は、厳選し常時300冊ほど陳列しておく。</p> <p>また、読み聞かせの先生をお招きして、小さな子どもたちに絵本の読み聞かせをしていただく。本を好きになってもらうと同時に、保護者以外の大人とのコミュニケーションを育み広げていく。</p>

活動予定 期 間	2020 年 9 月 ～ 2021 年 3 月	
助成金交付 申 請 額	50,000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
	<p>（活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動拠点が地域の古民家であり、来場者の対象も歩いて来場できるような近所の方に行っているため地域に根ざした活動である。 <p>本を介してたくさんの人とコミュニティを育めるということは、住んでいる街に知り合いが増え、知り合いが増えることにより、街により愛着を持つことができます。道端で会った時でもあいさつを交わすような顔見知りの方がたくさんいる街は良い街であると思うのでこの活動は、住みよい環境にする活動でもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の貸し借りをを行うのでそれに対する備品の整備が必要です。 ・本は、どの年代にも受け入れられるものであり、それがコミュニティの場であることを知らしめれば理解も共感も得られると思います。
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
	<p>（活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに活動の場所があり、現在も稼働中の場があるので場の問題はなく、近隣の方への理解も進んでいます。 ・助成金を超える部分は、すでに活動しているものより賄い活動します。 ・活動ミーティングを定期的に行い、人員の管理や規模調整を随時行います。
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
	<p>（活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この活動を感じていただき、拠点をやってもいい方を募り、理解ある活動メンバーもさらに増やしていこうと思います。 ・本を介して生まれたコミュニティが、この場所以外でも活用できるので、やがて地域全体にその意識を持っていただくことも可能だと思います。

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
-----	-----

<p>まちおこし団体 「わがまちを元気にする会」</p>	<p>南区呼続界隈で街おこし活動をしている「わがまちを元気にする会」とすでに連携しており、季刊誌に活動のお知らせをのせたり、マルシェイベント時には出店し、広報活動などをしていきます。</p>
----------------------------------	---

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2020	4		
	5		
	6		
	7		
	8	スタッフミーティング	活動計画などの打ち合わせ
	9	定期開催図書館（週二回） ワークショップ	本の貸し借りをする図書館の開催 本棚づくりなどのワークショップ
	10	定期開催図書館（週二回） ワークショップ	本の貸し借りをする図書館の開催 本の紹介などのワークショップ
	11	定期開催図書館（週二回） ワークショップ	本の貸し借りをする図書館の開催 読み聞かせなどのワークショップ
	12	定期開催図書館（週二回） ワークショップ	本の貸し借りをする図書館の開催 本の紹介などのワークショップ ブックカフェ開催
2021	1	定期開催図書館（週二回） ワークショップ	本の貸し借りをする図書館の開催 ブックカフェ開催
	2	定期開催図書館（週二回） ワークショップ	本の貸し借りをする図書館の開催 読み聞かせワークショップ
	3	定期開催図書館（週二回） ワークショップ	本の貸し借りをする図書館の開催 ブックカフェ開催 読み聞かせワークショップ

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000円
活動経費の内訳	消耗品費	定期開催図書館	コピー用紙、ペン、テープ、インク代など イベント開催時の茶菓子代	10,000円
	物品費	ワークショップ	本棚づくり（板材、角材等 10,000円） 工具（3,000円）ネジ釘等（2,000円） ペンキ刷毛等（5,000円）	20,000円
	印刷費	募集チラシ	開催日案内のチラシ作成、印刷	10,000円
	謝金	読み聞かせ会	講師1名（2,000円×2回）	4,000円
	交通費	読み聞かせ会	講師1名（500円×2回）	1,000円
	賃借料	ワークショップ	ワークショップ開催時のプロジェクターレンタル費（1,000円×2回）	2,000円
	その他	イベント開催時	ボランティア活動保険料（350円×10名）	3,500円
支出合計				50,500円

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。